

令和 新時代を 迎えて

～W商連の歩み～

早稲田大学周辺商店連合会



早稲田大学周辺商店連合会（W 商連） 会長挨拶

令和新時代を迎え、心よりお慶びを申し上げます。私は、2010 年（平成 22 年）より W 商連の 3 代目会長を務めさせて頂いております三品食堂の北上昌夫（早大西門体育館通り商店会所属）です。

この度、令和新時代を迎えるにあたって、会員の皆様をはじめ、関係各方面の方々に、W 商連の設立から現在に至るまでの約 40

年の歴史をこの記念誌の発行により紹介し、これからもこの組織の活動を支援して頂きたい、お願いする次第です。



早稲田の街は、1882 年（明治 15 年）、大隈重信侯により東京専門学校として創立された現在の早稲田大学と共に歩んでまいりました。

早稲田大学は、社会にあまたの人材を輩出し、近代日本の発展に貢献してきましたが、周辺の商店街も早大生の心のふるさととして、こうした人材輩出の一端を担ってきたと自負できると思います。

1982 年（昭和 57 年）早稲田大学創立 100 周年を機に、早稲田大学周辺の 5 商店会（早稲田商店会、大隈通り商店会、ワセダグランド商店会、早大西門体育館通り商店会、早稲田大学南門通り商店会）で、早稲田大学周辺商店連合会（通称：W 商連）が設立されました。

その後、早稲田駅前商店会と早大通り商栄会（旧グリーンベルト鶴巻商栄会）及び早稲田古書店街連合会が加盟し、現在、この 8 団体で運営されております。

W 商連の全店舗数は、設立当初は 400 店舗を超えていました。現在、減少の傾向にはありますが、それでも 300 店舗を超える大きな組織になっております。その内、約 3 割が飲食関係で占めております。

毎年、1 月と 7 月の 2 回、大学と定期懇談会を開催しており、街と大学との情報交換を行っております。

これにより、街と大学との結びつきをさらに深め、まちづくりを推進し、単に大学と地域の関係にとどまらず、広く社会に貢献し、日本を代表する学生街づくりに向けて邁進しなくてはなりません。

これまでに、実施した事業を振り返りますと、『夏枯れの早稲田でコンサートを』で始まった、環境と防災をテーマにした「エコサマーフェスティバル イン 早稲田」。大学の絶大

なる協力の下、途中で「早稲田地球感謝祭」と改称しましたが、継続しております。

また、東日本大震災の復興支援の一助として始まった「早稲田かつお祭り」も、「早稲田かつおフェスタ」と改称しましたが、継続しております。

これをきっかけに、江戸東京野菜の「早稲田みょうが」も復活しました。

その他、タウンマップの作成や、街の名物となる地ビールの開発など、街の活性化につながる方策を打ち立ててまいりました。

早稲田大学創立125周年に際しては、地ビールの売り上げから、大学に対し、お祝いを寄付させていただきました。

また、イベント開催にあたっては、新宿区の助成も忘れることはできません。

2020年1月に始まった新型のウイルスの流行により、社会生活は一変しました。仕事はリモートワークが主流になり、早稲田大学も卒業式、入学式が中止に。4月に緊急事態宣言が発出されると大学も全学ロックアウト。遅れて始まった授業もオンライン。早稲田の街は、過去に経験したことがない苦境に追い込まれました。

しかし、卒業生をはじめ、現役の学生までもが自分たちのことはさておき、ゴーストタウンのようになった街のことを心配してくれました。

6月には、OGの立ち上げてくれたECサイト「わせまちマルシェ」をオープンし、ネット販売を開始。当面をしのぎました。

2021年に入り、大学は卒業式、入学式を実施。新学期からは、7割の対面授業を始めて、早稲田の街はなんとか、息を吹き返しました。

しかし、この感染状況はまだまだ長続きしそうな気配で、この先が心配ですが、なんとか乗り切らなくてはなりません。

そして、コロナ後を考えた時に、大学のオンライン授業は減っても無くなることはありません。学生の学園生活も変わります。それゆえ、さらに学生以外の顧客を街へ呼び込むことが必要と思います。それには、今まで以上に早稲田の魅力を発信していかなければなりません。

初代会長故古舘秀夫氏（早大西門体育館通り商店会、テラークボタ）、2代目会長故清水恒夫氏（早稲田駅前商店会、三和クリーニング）には、長期間にわたり、その任を務めて頂きました。また、故桜井一郎氏（早稲田駅前商店会、PCビレッジ、えんむすび）には設立当初より平成24年まで事務局長を務めて頂きました。これまで、街の為に尽力された方々に、この場をお借りして敬意を表します。

地域にとって、地域の将来を皆で語り合える場は必要です。又、組織には組織を以って交渉する必要があります。

W商連はこのような役割を担っていく必要があると思います。

これからも、W商連は、商店街の活性化のため、そして、街の発展のために、未来を見据えた活動をしてまいりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。